

成果指標				
成果指標	雨水利用促進関係補助金申請件数の累積			
指標設定の考え方	制度利用者の増加により雨水の有効利用が促進され、節水意識の高揚につながる。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	80	85	95	0
実績	40	44	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	2	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	2	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>昨年度に続き、日々の節水意識を雨水の有効利用につなげる啓発を行ったところ、雨水タンクの補助申請件数は増加となった。しかしながら、浄化槽改造補助事業については、既設の浄化槽を再利用することへの衛生面の抵抗感からか、申請件数は0に留まった。今後は、下水道課の専門的な知識を活かしながら、連携して普及啓発に向けた取組を行って参りたい。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>節水対策として実施している雨水利用について、浄化槽改造補助については、下水道への接続を行った場合についてのみ実施できるものであり、かなり限定されている。ここ数年来水不足になってない為市民の節水意識が希薄になっていることをふまえ、雨水タンクの利用に対する有効な広報を考える必要がある。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題